

外郭団体ミッション遂行評価票

【平成26年度取組結果】

団体名	公益財団法人 北九州市芸術文化振興財団
-----	---------------------

所管課	市民文化スポーツ局 文化企画課
-----	-----------------

<p>市民の芸術文化の振興に関する事業や埋蔵文化財の調査、研究及び保護等を行い、市民生活の向上と市民の豊かな芸術文化の創造に寄与する。</p>
---

<p>市民に様々な舞台芸術を提供する公演事業については、質と量を維持しながら、収益向上策の工夫や事業形態の見直し等により、効率的な運営に努める。 また、同団体が管理運営する施設について、民間でできるものはないかという視点で精査する。一方で、市直営の文化施設のうち、民間で担えない部門については、市に代わって新たな担い手となれるよう、環境の整備を行う。</p>
---

ミッションに基づく中期計画

3~5年後に目指す状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の多様な芸術文化ニーズに対応し、様々な公演事業や育成事業の実施及び幅広い層への情報発信を行い、地域文化の振興に寄与していく。</li> <li>文化芸術施設の管理運営、並びに文化財保護法に基づいた埋蔵文化財の発掘調査、研究、保存等を行なう。</li> </ul>
-------------	--

主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）						
	H25 実績	H26 目標 実績		H27 目標	H28 目標	H29 目標	H30 目標
<観る・聴く> 公演事業の入場率 ①北九州芸術劇場 ②響ホール	①90% ②82%	①91% ②65%	①89% ②60.4%	①91% ②65.5%	①91% ②66.0%	①91% ②66.5%	①91% ②67.0%
<支える> 施設稼働率（劇場大ホール）	90%	79%	84%	81%	81%	83%	83%

ミッションの遂行状況の評価（平成26年度）

<p>市民に対し優れた文化芸術に接する機会や文化活動の場を提供するため、オリジナルの舞台芸術作品の制作、上演による全国発信、音楽専用ホールとしての特性を活かした質の高い音楽事業の提供、舞台・音楽芸術の手法を使った人材育成や教育普及事業等を実施し、文化芸術の振興に寄与すべく事業に取り組み、地域の劇場をけん引するリーダー的役割を担った。</p>	<p>本市の文化振興の中核施設としての役割を果たすべく、利用者の満足度の高い運営を行っている。施設間の連携を図るために、北九州芸術劇場と響ホール及びその他文化施設の協働による事業も実施し、HPやテレビを活用し、より多くの市民への広報に努めていることも評価できる。 響ホールについては、25年度同様の入場率には届かなかったが、優れた音響を持つ音楽専用ホールという特性を活かし、地元で活躍する奏者や響ホール室内合奏団の公演を増やすなど、地域の音楽文化の活性化が図れるよう運営を行ったことは評価する。</p>
<p>引き続き、市民に様々な文化芸術に接する機会や市民活動の場を提供するなど、文化芸術活動の振興に取り組んでいく。</p>	<p>効果的・効率的な経費の執行を行うとともに、更なるホスピタリティ、舞台技術向上を実現すべく、それらを担う人材育成・確保を求めていく。加えて、子どもたちをはじめとする市民が、さらに文化芸術に接する機会の拡大に努めるよう指導していく。</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	特に事業内容を精査する団体
<p>公演の質と量を維持しながら、効率的な運営を行い、優れた公演事業の提供など文化芸術の振興を図った。次年度以降も演目内容を検討の上、事業展開を図っていく。 ◆効率的な運営の効果：劇場、響ホールの会員制度統合（27年度～発足）、劇場・音楽の連携事業の実施 ◆優れた公演の実施：劇場（ジュリアス・シーザー（10/31～11/2） 蜷川幸雄演出：西日本唯一の公演地 音楽（響シリーズ パイオリニスト榎本大進&amp;エリック・ル・サージュ 入場率88%）</p>	